

# Introduction

- 01 コンテンツ一覧(目次)
- 02 IRコミュニケーションの全体像／編集方針
- 03 基本理念／経営理念／経営ビジョン

## イオンモール 統合報告書2023 コンテンツ一覧

### 01 introduction

- 1 コンテンツ一覧(目次)
- 2 IRコミュニケーションの全体像／編集方針
- 3 基本理念／経営理念／経営ビジョン

### 04 トップメッセージ

### 09 2030年ビジョン

- 09 2030年ビジョン  
イオンモールは、地域共創業へ。
- 11 studio LIFE DESIGN

### 12 価値創造

- 13 価値創造のあゆみ
- 14 価値創造プロセス
- 15 イオンモールのビジネスモデル
- 16 イオンモールの事業(国内・海外)
- 17 価値創造ストーリー(強みと経営資源戦略)
- 18 イオンモールの重要課題(マテリアリティ)選定理由と方針
- 20 ステークホルダーエンゲージメント

### 21 価値創造戦略

- 22 中期3カ年経営計画の全体像と進捗
- 23 **2023—2025中期3カ年経営計画**  
方針・戦略
- 24 **2023—2025中期3カ年経営計画**  
目標とKPI
  - 取組方針**
  - 26 国内外における  
リージョナルシフトの推進
  - 取組方針**
  - 27 ヘルス&ウエルネス  
プラットフォームの創造
  - 成長施策**
  - 28 海外成長マーケットにおける  
事業機会の発掘と事業化
  - 成長施策**
  - 29 国内における  
ビジネスモデル改革の推進
  - 成長施策**
  - 31 既存事業の枠組みにとらわれない  
新たなビジネスモデルの創出
  - 基盤構築**
  - 32 サステナブル視点での  
財務基盤強化と組織体制構築
- 33 財務戦略 ～財經担当役員メッセージ～
- 40 **特集** 社外取締役×証券アナリスト対談
- 44 DX(デジタルトランスフォーメーション)戦略
- 46 サステナビリティ戦略

- 47 人材戦略 ～管理担当役員メッセージ～
  - 48 人的資本への投資
  - 50 ① ダイバーシティ経営の推進  
～開く個性、拓くみらい～
  - 53 ② 健康経営の推進  
～すこぶる、健やか、サステナブル～
  - 55 ③ 働き方改革の推進  
～選び、選ばれる、関係へ～
  - 56 ④ 「地域共創」人材の育成  
～地域をつなぐ、未来をつむぐ～
  - 57 ④ 自律的なキャリア開発機会の提供
  - 58 ⑤ サクセッションプランの推進  
～NEXT～
  - 59 ⑥ グローバル人材の育成  
～つなぐアジア、広がる人材～
- 60 環境戦略
  - 61 ① 脱炭素社会の実現
  - 63 TCFDに基づく開示
  - 66 ② サーキュラーモールの実現
  - 67 ③ 生物多様性の保全
- 68 人権への配慮

### 70 コーポレート・ガバナンス

- 71 基本的な考え方／  
コーポレート・ガバナンス改革の歩み
- 72 コーポレート・ガバナンス体制
- 73 取締役会
  - 74 取締役の専門性と経験  
<スキルマトリックス>
  - 75 取締役会の運営／取締役会実効性評価
  - 76 役員報酬
  - 77 各委員会の運用状況
  - 78 少数株主の保護
  - 79 後継者計画／政策保有株式
  - 80 リスクマネジメント
  - 82 コンプライアンス
  - 83 内部統制システム
  - 84 取締役および監査役
- 86 企業データ
  - 86 財務レビュー
  - 89 11年間の主要財務データ
  - 90 11年間の主要非財務データ
  - 91 会社情報／外部機関による評価・認証
  - 92 株式情報

# Introduction

- 01 コンテンツ一覧(目次)
- 02 IRコミュニケーションの全体像／編集方針
- 03 基本理念／経営理念／経営ビジョン

## イオンモール 統合報告書2023 編集方針

イオンモールグループは、『イオンモールは、地域とともに「暮らしの未来」をつくるLife Design Developerです。』という経営理念のもと、「アジア50億人の心を動かす企業へ」の成長をめざしています。こうした中長期的な企業価値向上への取り組みを一層深く理解していただくために、2018年度より、株主・投資家をはじめとしたすべてのステークホルダーの皆さまを対象とした「統合報告書」を発行しています。編集にあたっては、IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創ガイダンス2.0」を参考に、中長期的な企業価値向上において重要と思われる情報を中心に紹介しています。統合報告書2023では、新たに策定した2030年ビジョン「イオンモールは、地域共創業へ。」を軸に、小売視点に基づくモール・ビジネスで培った強み、価値創造プロセスと今後に向けた戦略、価値創造の基盤となる事業活動やESGの取り組みなどを中心に紹介しています。ESGの取り組みについては、マテリアリティに基づき、企業価値に特に大きな影響を及ぼす項目を説明しています。当社のESG活動を分かりやすく紹介したESGレポートやサステナビリティサイト、IRサイトにて、より詳細にESG情報を記載していますので、そちらもあわせてご覧ください。



対象期間: 2022年3月1日から2023年2月28日  
 対象期間外の情報についてはその都度表記しています。  
 対象組織: イオンモール株式会社およびイオンモール株式会社に属するグループ企業とそれらが管理する施設を原則としています。環境指標については、イオンリテール株式会社から運営受託を受けている49モール、mozo wondercity、神戸ハーバーランドumie、カテプリ、イオンSENRITO専門館、株式会社OPAの商業施設を除きます。

## IRコミュニケーションの全体像



## 基本理念

## お客さま第一

## 経営理念

イオンモールは、  
地域とともに「暮らしの未来」をつくる  
Life Design Developerです。

Life Designとは、商業施設の枠組みを越えて、一人ひとりのライフステージを見据えたさまざまな機能拡充を行い、ショッピングだけでなく、人との出逢いや文化育成なども含めた“暮らしの未来”をデザインすること。

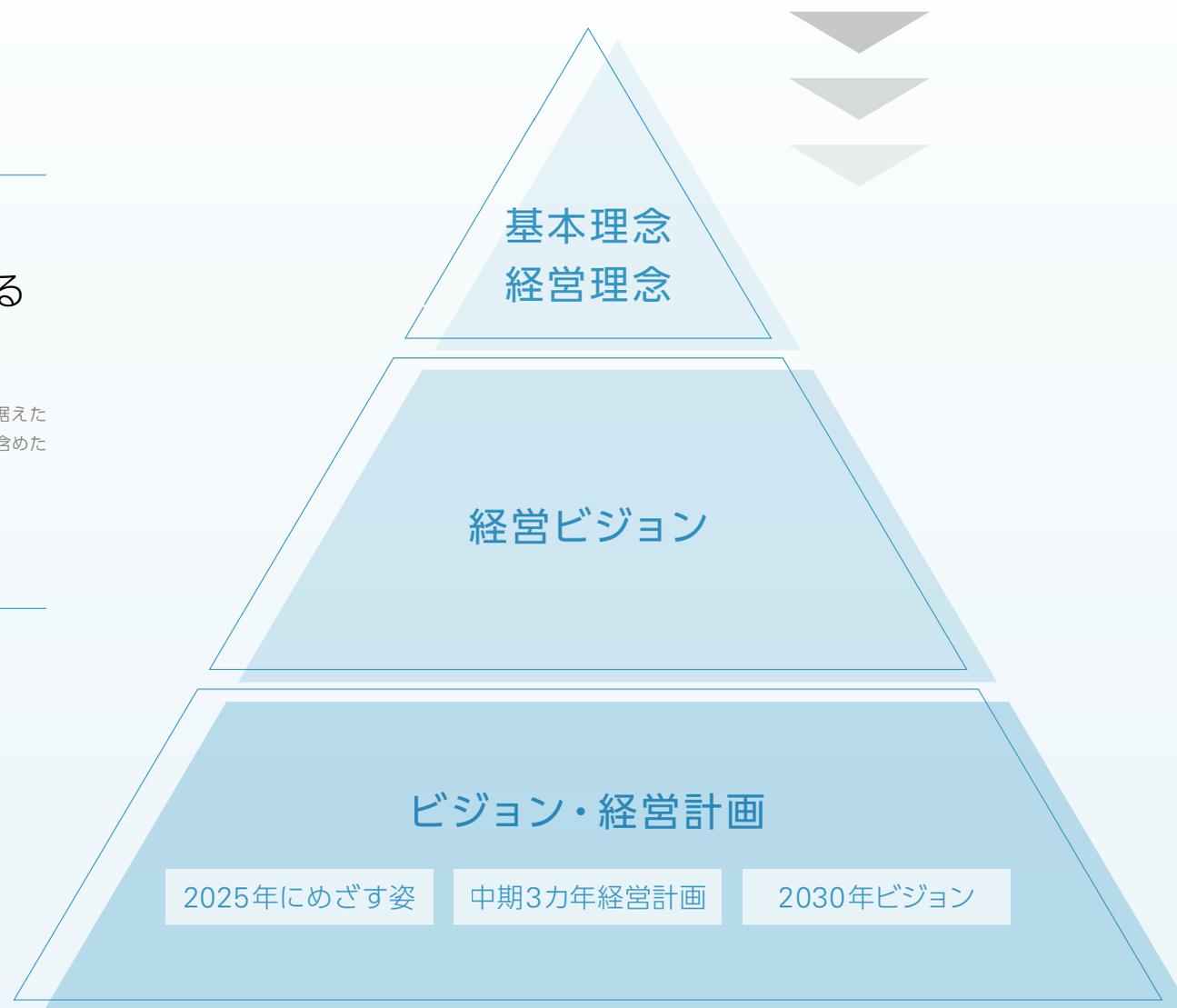
## 経営ビジョン

## アジア50億人の心を動かす企業へ

- 私たちは、一人ひとりがLife Design Producerとして、商業施設の枠組みを越え、新たな「暮らし」を創造する事業領域を拓き、成長し続けます。
- 私たちは、パートナーとともに、地域の魅力を磨きつづける究極のローカライズに挑戦します。
- 私たちは、世界中の拠点をはじめとする全ての資産を活かし、永続的に発展することで、強い財務体質と強固な事業基盤を構築します。
- 私たちは、革新し続けるプロフェッショナル集団です。
- 私たちは、お客さまに徹底して寄り添い、生涯わすれえない思い出となる最良の体験を共有します。



基本理念・経営理念に基づく経営ビジョンのもと、めざす姿を実現するための経営計画を策定



# Introduction

- 01 コンテンツ一覧(目次)
- 02 IRコミュニケーションの全体像／編集方針
- 03 基本理念／経営理念／経営ビジョン